



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デサント

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石本 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役ロジスティクス管掌 兼スタッフ管掌 (氏名) 辻本 謙一

TEL 06-6774-0362

四半期報告書提出予定日 平成26年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	57,134	13.8	3,670	47.5	3,912	49.5	2,775	53.1
26年3月期第2四半期	50,187	15.8	2,487	0.7	2,615	2.4	1,813	13.2

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 2,721百万円 (△9.0%) 26年3月期第2四半期 2,989百万円 (93.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	36.84	—
26年3月期第2四半期	24.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	85,952	58,259	67.8
26年3月期	83,830	56,309	67.2

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 58,259百万円 26年3月期 56,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	11.9	8,000	27.6	8,200	23.4	5,400	20.8	71.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	76,924,176 株	26年3月期	76,924,176 株
27年3月期2Q	1,583,240 株	26年3月期	1,580,782 株
27年3月期2Q	75,342,390 株	26年3月期2Q	75,348,131 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) 販売実績	12
(2) 海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は57,134百万円(前年同四半期比13.8%増)、営業利益は3,670百万円(前年同四半期比47.5%増)、経常利益は3,912百万円(前年同四半期比49.5%増)、四半期純利益は2,775百万円(前年同四半期比53.1%増)となりました。セグメント別ではデサントコアを中心とするアジアが売上高及び利益共に好調でしたが、日本は減収減益となりました。

当社グループは、当期を2年目とする中期3ヶ年計画「Compass 2015」の達成に向けて、「海外事業の更なる拡大」と「国内事業の再建」を事業方針としています。「海外事業の更なる拡大」については、東南アジアのマーケティング拠点として香港支店を設置、欧州エリアでの「デサント」の事業強化を目的に欧州リエゾンオフィスをスイスに設置しました。さらに、「デサント」のリテール事業強化を目的に日韓共同プロジェクトとしてデサントグローバルビジネスチームを始動しました。また、当社がアジア圏での商標を保有する「ルロックスポルティフ」、「アリーナ」、「アンプロ」といったブランドの、欧米やその他の地域の商標を保有するパートナー企業との連携を深め、ブランドの世界観をグローバルに統一して表現する「ワングローバルブランド」の推進も行っております。「国内事業の再建」については、在庫の適正化、種目別事業の強化、リテール型オペレーションの強化及び新たなブランド価値の創造を最重要課題として企業体質の強化に取り組んでおります。

商品政策では、「デサント」のゴルフカテゴリー「デサントゴルフ」を2015年春夏から日韓同時に展開スタートすることを4月に発表しました。発売に先駆けて、公益財団法人日本ゴルフ協会とのオフィシャルサプライヤー契約に基づき、9月には52年ぶりに日本で開催された世界アマチュアゴルフチーム選手権のチームジャパンに商品サプライを行いました。今後もトップチームやアスリートのパフォーマンスをサポートする機能性に優れた商品開発を目指します。

広告宣伝・販売促進活動では、「ルロックスポルティフ」がスポンサーを務める世界最高峰のサイクルロードレース「ツール・ド・フランス」において、「デサント」を着用した「AG2R・ラ・モンディアル」(仏/プロサイクリングチーム)がチーム総合優勝を果たし、世界の注目を集める大会で当社が扱う2つのブランドの価値を同時に高めることができました。国内では今年も「第45回マンシングウェアレディース東海クラシック」を開催いたしました。また、「ルロックスポルティフ」では、ブランドキャラクターとしてタレント、モデルとして活躍中の梨花さんを起用し、雑誌媒体などを通じたプロモーションを国内外で行うなど、ブランド価値向上、販売強化に努めてまいりました。

社会貢献活動としましては、デサントヘルスマネジメント研究所で培ったノウハウを活用し、健康増進プログラム「東北元気アップ教室2014春」を福島県双葉町・浪江町で開催いたしました。今後も被災地の方々の心と体の健康維持向上のための支援活動を続けてまいります。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本での売上高は27,304百万円(前年同四半期比3.4%減)、セグメント利益は399百万円(前年同四半期比15.9%減)となりました。売上高は消費増税の影響による買い控えや天候不順及び在庫の処分販売により減収となり、利益は、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、返品調整引当金繰入額の増加により減益となりました。

(アジア)

アジアでの売上高は29,769百万円(前年同四半期比35.9%増)、セグメント利益は3,377百万円(前年同四半期比55.1%増)となりました。韓国では事業全般に好調に推移し、中国・香港ではアスレチック事業は好調に、ゴルフ事業では堅調に、アウトドア事業は順調に推移いたしました。

(北米)

北米ではスキーウェアを中心とした事業を行っておりますが、売上高は60百万円(前年同四半期は3百万円の売上高)、セグメント損失は171百万円(前年同四半期は171百万円のセグメント損失)となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

アスレチックウェア及びその関連商品の売上高は37,773百万円(前年同四半期比19.9%増)となりました。国内市場においては、「ルコックスポルティフ」は堅調に、「デサント」「アリーナ」は昨年並みでしたが、「アンブロ」は減収となりました。アジア市場においては、韓国において「デサント」「ルコックスポルティフ」の現地企画がマーケットのニーズに合致し、好調に推移いたしました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

ゴルフウェア及びその関連商品の売上高は16,358百万円(前年同四半期比3.5%増)となりました。国内市場においては、「ランバン スポール」「カッターアンドバック」が好調に推移いたしました。また、「マンシングウェア」、「ルコックスポルティフ」は減収となりました。アジア市場においては、韓国において「マンシングウェア」は春物のアウターやセーターが販売を牽引し好調に、「ルコックスポルティフ」も現地企画のアイテムやゴルフシューズが好評で好調に推移いたしました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

アウトドアウェア及びその関連商品の売上高は3,002百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。国内市場においては減収となりましたが、アジア市場においては、韓国において「デサント」が好調に推移いたしました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は85,952百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,122百万円増加致しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ809百万円増加し、61,228百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加2,460百万円、受取手形及び売掛金の減少2,475百万円、商品及び製品の増加396百万円によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ1,312百万円増加し、24,724百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加434百万円、無形固定資産の増加296百万円によるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ171百万円増加し、27,692百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ1,950百万円増加し、58,259百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加2,006百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.6%増の67.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より2,381百万円増加し、18,647百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,427百万円の収入超過(前第2四半期連結累計期間は、649百万円の支出超過)となりました。これは主な減少要因として仕入債務の減少額1,532百万円、法人税等の支払額1,252百万円がありましたが、税金等調整前四半期純利益3,912百万円、減価償却費842百万円、売上債権の減少額2,433百万円などの増加要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,219百万円の支出超過(前第2四半期連結累計期間は、1,513百万円の支出超過)となりました。これは主に韓国での物流倉庫の建設によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、795百万円の支出超過(前第2四半期連結累計期間は、660百万円の支出超過)となりました。これは主に配当金の支払額753百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。このような状況のなかで、当社は引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を鑑み、平成26年5月8日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。詳細につきましては、本日(平成26年10月30日)公表いたしました「業績予想との差異及び業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

平成27年3月期通期連結業績予想の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	120,000	7,000	7,200	4,800	63.71
今回修正予想(B)	123,000	8,000	8,200	5,400	71.67
増減額(B-A)	3,000	1,000	1,000	600	
増減率(%)	2.5	14.3	13.9	12.5	
前期実績(平成26年3月期)	109,944	6,271	6,643	4,470	59.33

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(重要なヘッジ会計処理等の方法の変更)

従来、外貨建金銭債権債務に係る為替予約については振当処理を採用していましたが、為替リスクの評価及び為替予約に関する管理体制の見直しを行った結果、外貨建金銭債権債務及びデリバティブ取引の状況をより適正に連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間よりヘッジ手段である為替予約を時価評価する方法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響額が軽微であるため、遡及適用しておりません。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が24百万円増加し、利益剰余金が15百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,857	19,318
受取手形及び売掛金	21,481	19,005
商品及び製品	18,226	18,622
仕掛品	23	58
原材料及び貯蔵品	703	810
その他	3,216	3,491
貸倒引当金	△90	△78
流動資産合計	60,418	61,228
固定資産		
有形固定資産	14,336	14,771
無形固定資産	2,230	2,527
投資その他の資産		
その他	7,057	7,543
貸倒引当金	△212	△118
投資その他の資産合計	6,844	7,425
固定資産合計	23,411	24,724
資産合計	83,830	85,952
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,537	13,961
1年内返済予定の長期借入金	106	113
未払法人税等	1,129	1,198
賞与引当金	768	778
返品調整引当金	503	1,049
その他	4,418	5,168
流動負債合計	22,463	22,269
固定負債		
長期借入金	903	912
退職給付に係る負債	1,014	1,059
その他	3,139	3,451
固定負債合計	5,057	5,422
負債合計	27,520	27,692

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	24,443	26,450
自己株式	△666	△668
株主資本合計	52,807	54,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	407	540
繰延ヘッジ損益	△4	△46
為替換算調整勘定	3,114	2,948
退職給付に係る調整累計額	△15	6
その他の包括利益累計額合計	3,501	3,447
純資産合計	56,309	58,259
負債純資産合計	83,830	85,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	50,187	57,134
売上原価	23,736	25,471
売上総利益	26,451	31,663
返品調整引当金繰入額	29	560
差引売上総利益	26,422	31,103
販売費及び一般管理費	23,934	27,432
営業利益	2,487	3,670
営業外収益		
受取利息	30	69
受取配当金	38	54
その他	172	199
営業外収益合計	241	322
営業外費用		
支払利息	0	8
固定資産除却損	24	43
為替差損	82	17
その他	6	12
営業外費用合計	113	81
経常利益	2,615	3,912
税金等調整前四半期純利益	2,615	3,912
法人税、住民税及び事業税	892	1,267
法人税等調整額	△89	△130
法人税等合計	802	1,136
少数株主損益調整前四半期純利益	1,813	2,775
四半期純利益	1,813	2,775

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,813	2,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	132
繰延ヘッジ損益	31	△42
為替換算調整勘定	915	△132
退職給付に係る調整額	—	21
持分法適用会社に対する持分相当額	58	△34
その他の包括利益合計	1,176	△54
四半期包括利益	2,989	2,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,989	2,721

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,615	3,912
減価償却費	760	842
貸倒引当金の増減額(△は減少)	93	△106
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	10
返品調整引当金の増減額(△は減少)	29	545
退職給付引当金の増減額(△は減少)	73	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	17
受取利息及び受取配当金	△69	△123
支払利息	0	8
売上債権の増減額(△は増加)	△425	2,433
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,004	△554
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,402	△1,532
その他	△323	1,112
小計	339	6,565
利息及び配当金の受取額	69	123
利息の支払額	△0	△8
法人税等の支払額	△1,057	△1,252
営業活動によるキャッシュ・フロー	△649	5,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	89	754
定期預金の預入による支出	△138	△866
有形固定資産の取得による支出	△1,828	△1,301
無形固定資産の取得による支出	△159	△446
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
投資有価証券の売却による収入	—	29
その他	528	△384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,513	△2,219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△602	△753
自己株式の取得による支出	△2	△2
その他	△55	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△660	△795
現金及び現金同等物に係る換算差額	333	△32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,490	2,381
現金及び現金同等物の期首残高	17,387	16,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,896	18,647

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,275	21,907	3	50,187	—	50,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,445	98	—	1,544	△1,544	—
計	29,721	22,006	3	51,731	△1,544	50,187
セグメント利益又は損失	474	2,177	△171	2,480	7	2,487

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額7百万円には、セグメント間取引消去35百万円、棚卸資産の調整額△28百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,304	29,769	60	57,134	—	57,134
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,030	33	0	2,063	△2,063	—
計	29,335	29,802	60	59,198	△2,063	57,134
セグメント利益又は損失	399	3,377	△171	3,605	64	3,670

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額64百万円には、セグメント間取引消去33百万円、棚卸資産の調整額31百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	31,497	62.8	37,773	66.1	6,275	19.9
ゴルフウェア 及びその関連商品	15,813	31.5	16,358	28.6	545	3.5
アウトドアウェア 及びその関連商品	2,876	5.7	3,002	5.3	126	4.4
計	50,187	100.0	57,134	100.0	6,947	13.8

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	22,628	7	650	23,286
II 連結売上高				50,187
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	45.1	0.0	1.3	46.4

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	30,587	60	663	31,312
II 連結売上高				57,134
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	53.5	0.1	1.2	54.8

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。